

出雲市をもっと元気にしたい！

出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に向けてスタート！！

おたすね
縁結び定住課 ☎216629

人口減少時代の到来。それは私たちにとっても無関係な問題ではありません。私たちの住んでいる地域社会の維持さえ困難になることを意味しています。

そこで、国は、人口の減少に歯止めをかけるとともに、それぞれの地域で住みよい環境をしっかりと保ち、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、昨年11月、「まち・ひと・しごと創生法」を公布・施行しました。この法律では、市町村においても人口ビジョン及び総合戦略（2015～2019年）を策定することが求められており、出雲市も本年秋の策定をめざして検討を進めています。

今日は、市の人口ビジョンおよび総合戦略の策定に向けた動きを紹介いたします。



第1回出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の様子(5月8日)

【出雲市の人口の動向】

1995年以降の国勢調査によると、市の人口は2000年の173,776人をピークに減少傾向にあります。これは、出雲市の場合、社会増減(※)については微増傾向にあります。社会増の人数より自然減の人数が上回っているためです。

社会増の要因は、近隣市町村からの転入者増と市内企業に勤務する外国人の転入増によるものと考えられます。

※社会増減：転入者数と転出者数の差引

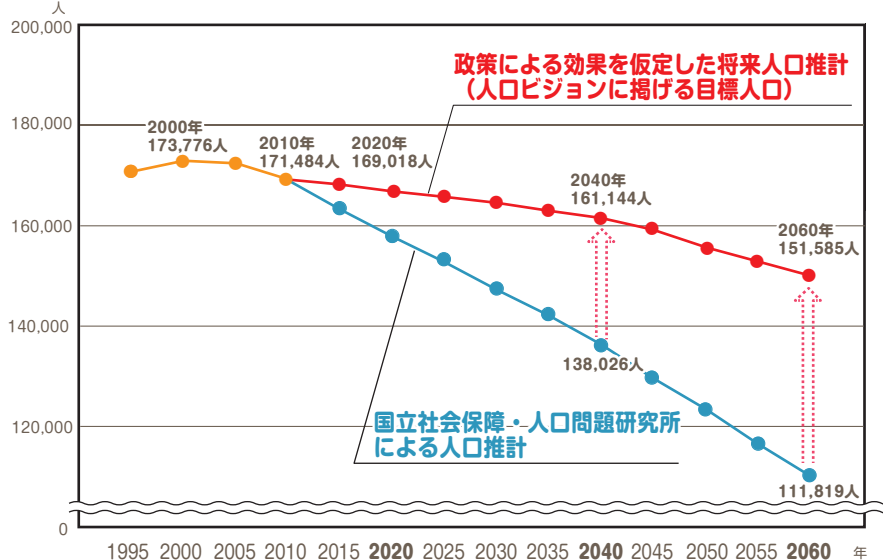
自然増減：出生者数と死亡者数の差引

しかし、2012年10月から翌年9月の人口移動を見ると、24歳以下の若い世代は、就学・卒業・就職等のため転入者よりも転出者が多くなっています。特に大学・専門学校卒業者の約8割が県外に就職しているのが現状です。

国立社会保障・人口問題研究所によると、このままのペースで人口の減少が続くと、市の人口は、2040年には現在の約20%減の13万8千人、2060年には現在の約35%減の11万8千人になると推計されています。(グラフの青い線)

このような人口動向をふまえ、市では2060年ま

出雲市の人口の推移と将来推計



※2010年までの総人口は、国勢調査から作成

での人口ビジョンを定め、それを実現するための施策等を盛り込んだ、出雲市版総合戦略を策定します。現在策定中の人口ビジョンでは、2020年3月の推計人口を16万9千人、2060年の目標人口を15万人台とすることとしています。(グラフの赤い線)

総合戦略に掲げる取組を行うことで、将来の人口減の幅を抑え、活力ある出雲市を築きたいと考えています。

出雲市まち・ひと・しごと創生 総合戦略

基本目標

- ① **出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場を創出**
魅力ある雇用の場・多様な雇用の場の創出。出雲ならではの産業創出と既存産業等の活性化など
- ② **出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる**
豊かな自然、地域・家族の結びつきを大切に「出雲の暮らし」を前面に押し出した市外・県外からの人の流れの創出。Uターン者向け制度の充実。ふるさと教育の充実など
- ③ **出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる**
結婚支援、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援など
- ④ **住みやすさNo.1のまちづくりを行うとともに、住民による主体的な地域づくりを進める**
「住みやすさNo.1のまち」をめざした、地域の特性を生かした「まち」づくり
- ⑤ **広域連携による魅力ある圏域づくりをめざす**
中海・宍道湖・大山圏域市町村との連携協働による産業・観光振興、交通ネットワーク等の取組など

【出雲市版総合戦略策定の動き】

市では、市長を本部長とする「出雲市まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げ、市内部で議論しています。また、幅広い年代や各種機関の代表・識見を有する方々の意見を聞く「出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議（会長：糸原直彦出雲商工会議所専務理事ほか委員18人）」を設置し、総合戦略について議論を進めています。

骨子案については、下のとおり公表しています。皆さんのご意見・ご提案をお寄せください。

出雲市版総合戦略の骨子(案)への 意見を募集します。

市では、今年秋の総合戦略策定をめざし、このたび骨子(案)を作成しました。この骨子(案)を公表しますので、皆さんのご意見・ご提案をお寄せください。寄せられたご意見・ご提案は今後の総合戦略策定の参考にします。

人口ビジョン骨子(案)・総合戦略の骨子(案)の本文については、縁結び定住課及び各支所地域振興課・市民サービス課に置いているほか、市のホームページでもご覧いただけます。

- 募集期限：7月24日(金)
- 提出方法：ご意見・ご提案と住所、氏名、電話番号を記入して、次の方法で提出してください。(電話・口頭での意見は受付できません。)
- ◆ 郵 送：〒693-8530
(住所不要)出雲市役所 縁結び定住課
- ◆ F A X：21-6599
- ◆ 電子メール：enmusubi@city.izumo.shimane.jp
- ◆ 窓 口：縁結び定住課または各支所地域振興課・市民サービス課

おたすね／縁結び定住課 ☎21-6629

鵜鷺地区ほかでUターン希望者の民泊プログラム等を行うNPO代表者の清水さんに、出雲市版総合戦略に向けての思いをうかがいました。

出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員に聞く
NPO法人ふるさとつなぎ
代表理事 清水隆矢さん (28)



私が住む鵜鷺地区には、地区を盛り上げて行こうという熱意ある人、私のような移住者を迎え入れてもらえる環境があり、地区に住む人たちに、大きな魅力を感じました。また、定住支援交流事業に関する取組を行うなかで、地域の現場で多くの人と出会い、学ぶことができました。推進会議では、現場での経験に基づく意見を述べたいと思います。

Uターンしたい人には、たとえ都会よりも給料が少なくても、自然の中で暮らしたい、子育てをしたいという思いで、田舎に目を向けている人もいます。中には、出雲で仕事を作り出せる人もいます。このような人と、地域の人たち



5月16日に開催された「第3回夢追う仕事人」(主催：大人の夢体験プロジェクト)。清水さんは、この日、ゲストとして自身の活動や体験を話し、参加者は熱心に聴き入りました。